

事業所名

kodon lead

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

3 月

24 日

法人（事業所）理念		自分らしく生きる事を実現できるように1人1人に寄り添う。						
支援方針		個別療育に特化し、一人一人に対応し、寄り添い丁寧な支援を行う。本人や保護者の困り感を軽減していきながらも、本人らしく生きていけるように、コミュニケーションスキルや社会性の能力の向上、日常動作などのADLの確立等を目的とする。また、言語聴覚士、理学療法士等の専門性を活かして、活動に取り入れいき、更に質の良い療育を提供していく。						
営業時間		8 時	30 分から	5 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容								
本人 支 援	健康・生活	ADLの確立に向けた、食事・更衣等の日常動作に必要な基礎的生活スキルの獲得に向けた支援を行っていく。 健康状態の把握を行い、保護者や園の先生達と共有を図り、必要に応じて助言・対応を考え実行していく。 色々な遊びを通して経験を増やしていけるように環境を整える。						
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動的な動きの獲得に向け、筋力を向上させていく。 全身運動や手指、足先等を使う運動を提供し、ボディイメージを付け協調性を高めていく。 身体を動かすことでストレスを発散し、日々の安寧に繋げていく。						
	認知・行動	支援者との関わりを経て、感覚や認知のすり合わせや、コミュニケーションの困難性からくる行動障害の予防、適切な行動でのモデルを示し支援を行う。 認知の特性を理解し、子ども達に入ってくる情報を適正に処理出来るように配慮しながら支援を行っていく。 数の概念や数量、物の大小、色の違い等の概念形成を学んでいけるように支援を行う。						
	言語 コミュニケーション	言語の習得、自発的な発声を促せるように絵本の読み聞かせや支援者との関わりを通して支援を行う。 支援者との関わりの中からコミュニケーション能力の向上を促していく。 色々な絵カードなどを準備し、視覚からも言語の習得が出来るように環境を整えていく。						
	人間関係 社会性	支援者との関わりを通して、色々な人との信頼関係の築き方や良好な関係作りを形成していく力を養えるように支援を行う。 様々な活動を通し、人の動きの模倣から社会性や対人関係を高めていき、集団生活の基盤を養っていく。 子ども自身が出来る事、出来ない事を理解し、気持ちのコントロールが出来るように支援を行っていく。						
家族支援		利用時の様子や感じた事等に関する情報の共有。 モニタリング、個別支援計画の作成。 子育てに関する困り事への相談。			移行支援		進学・進級に当たり、これまでの支援内容を共有すると共に、生活をスムーズに始められるようにしていく。 適切な配慮を求める事が出来るように情報の共有化をしていく。	
地域支援・地域連携		担当者会議への積極的な参加。 保育所等との、こどもの特性の把握や情報共有、連携の実施。			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・職場内研修 ・研修費補助制度の活用。 ・PDCAサイクルの実施 	
主な行事等		・防災訓練						